

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】令和4年12月5日(2022.12.5)

【国際公開番号】WO2022/138188

【出願番号】特願2022-542726(P2022-542726)

【国際特許分類】

B 3 2 B 27/08(2006.01)

B 3 2 B 27/32(2006.01)

B 6 5 D 65/40(2006.01)

10

【F I】

B 3 2 B 27/08

B 3 2 B 27/32 C

B 6 5 D 65/40 D

【手続補正書】

【提出日】令和4年7月12日(2022.7.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第一の基材と、

前記第一の基材に接して配置された樹脂層と、

前記樹脂層に接して配置された無機蒸着層と、

前記無機蒸着層に接して配置されたガスバリア性接着剤層と、を含み、

前記樹脂層の膜厚が0.1 μm以上5 μm以下であり、

前記樹脂層が、ナイロン、エチレンビニルアルコール共重合体、ポリビニルアルコール、
ポリ塩化ビニル、アクリル系重合体、ポリアルキルイミン、酸変性ポリオレフィン、ポリ
エーテルエステルアミドブロック共重合体からなる群から選ばれる少なくとも一種である
ことを特徴とする積層体。

30

【請求項2】

前記ガスバリア性接着剤層が、(A1)～(A3)の少なくとも1種のポリエステルポリ
オール(A)を含むポリオール組成物(X)と、1分子中に少なくとも2つのイソシアネ
ート基を有する化合物(B)を含むポリイソシアネート組成物(Y)とからなる2液型接
着剤の効果塗膜である請求項1に記載の積層体。

(1) オルト配向性多価カルボン酸を含む多価カルボン酸と、多価アルコールとを重縮合
して得られるポリエステルポリオール(A1)

40

(2) イソシアヌル環を有するポリエステルポリオール(A2)

(3) 重合性炭素-炭素二重結合を有するポリエステルポリオール(A3)

【請求項3】

前記樹脂層の膜厚が0.3 μm以上5 μm以下である請求項1に記載の積層体。

【請求項4】

前記樹脂層がエチレンビニルアルコール共重合体、ポリビニルアルコールから選ばれる少
なくとも一種である請求項1に記載の積層体。

【請求項5】

第一の基材と、

前記第一の基材に接して配置された樹脂層と、

50

前記樹脂層に接して配置された無機蒸着層と、
前記無機蒸着層に接して配置されたガスバリア性接着剤層と、第二の基材を含み、
前記樹脂層の膜厚が0.1 μm以上5 μm以下であり、
前記樹脂層が、ナイロン、エチレンビニルアルコール共重合体、ポリビニルアルコール
、ポリ塩化ビニル、アクリル系重合体、ポリアルキルイミン、酸変性ポリオレフィン、ポ
リエーテルエステルアミドブロック共重合体からなる群から選ばれる少なくとも一種であ
り、
前記第一の基材と、前記第二の基材が、低密度ポリエチレン、中密度ポリエチレン、高密
度ポリエチレン、直鎖状（線状）低密度ポリエチレン、ポリプロピレン、又はポリブテン
である請求項1に記載の積層体。

10

【請求項6】

前記無機蒸着層が、アルミニウム、酸化アルミニウム、酸化ケイ素からなる群から選ば
れる少なくとも一種の蒸着層である請求項1に記載の積層体。

【請求項7】

請求項1～6の何れか一項に記載の積層体からなる包装材。

20

30

40

50